

2021年6月28日

静岡県内企業経営者の景気見通し調査(2021年7~12月期 B.S.I.)

## 景況感は2期連続で改善 ～製造業、非製造業ともプラスに～

静岡経済研究所（理事長 馬瀬和人）では、5月中旬に実施した「静岡県内企業経営者の景気見通し調査」の結果をとりまとめましたので、その内容をお知らせします。

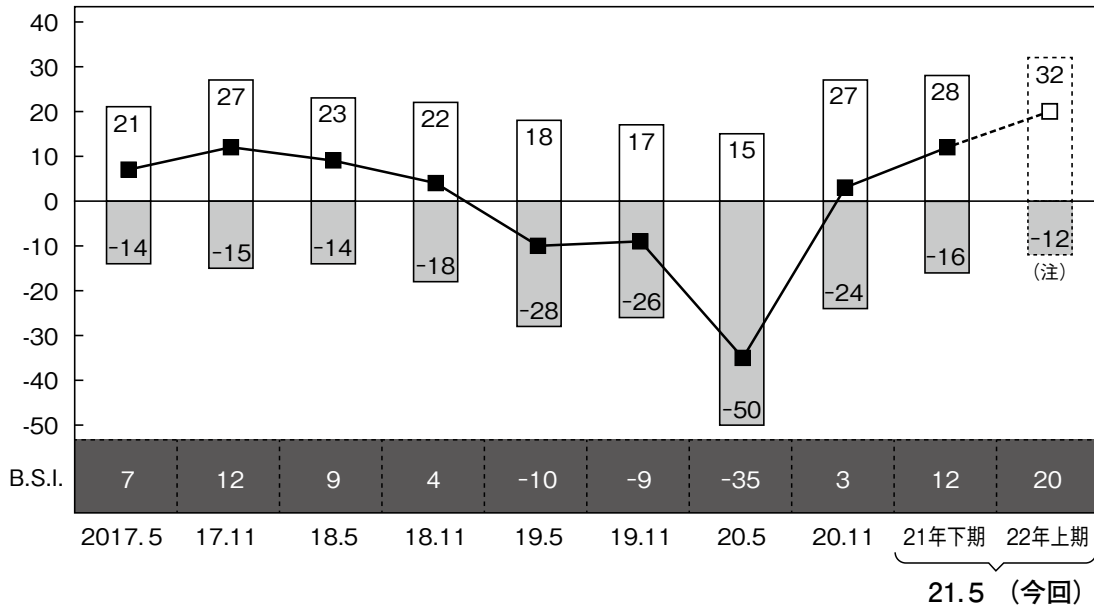
### 景気見通し

- 2021年下期（7～12月）のB. S. I.（業界景気見通し指数）は、「上昇」（28%）が「下降」（16%）を+12ポイント上回り、プラスに転じた前回調査に引き続き改善判断を維持した。
- 企業規模別にみると、大企業が「上昇」（40%）が「下降」（9%）を+31ポイントと大幅に上回り、中小企業も「上昇」（27%）が「下降」（17%）を+10ポイント上回り、改善を見通す経営者が多い。
- 業種別にみると、全20業種のうち、「上昇」が12業種、「横ばい」が2業種、「下降」が6業種となった。製造業では、「一般機械器具」（ $\Delta 8 \rightarrow +42$ ）が改善に転じ、「食料品」（ $+24 \rightarrow +32$ ）、「パルプ・紙・紙加工品」（ $+13 \rightarrow +22$ ）などで引き続き改善傾向を示した。また、非製造業では、「小売業」（ $\Delta 20 \rightarrow +13$ ）、「ホテル・旅館業」（ $\Delta 25 \rightarrow +60$ ）でプラスへと転じ、「卸売業」（ $+3 \rightarrow +8$ ）、「運輸・倉庫業」（ $+21 \rightarrow +34$ ）で改善傾向を強めた。
- 2022年上期の見通しについては、製造業、非製造業ともに+20と改善判断となった。大企業では中小企業と比べて改善を見込む経営者が多い。

※本件のお問い合わせ先 担当（酒井 悠太）

## 景況感は2期連続で改善 ～製造業、非製造業ともにプラスに～

図表1 業界景気見通し（B.S.I.）の推移



□ 上昇 (%)、■ 下降 (%) ■ B.S.I. (「上昇」と「下降」の差を指数化したもの)

(注) 2022年上期は2021年下期と比べた業績見通し

### 景気見通し（概況）

#### □ B.S.I. は大企業で大きく上昇、全体でも改善判断が続く

2021年下期（7～12月）のB.S.I.（※）による業界景気見通しは、「上昇」（28%）が「下降」（16%）を+12ポイント上回り、プラスに転じた前回調査に引き続き改善判断を維持する結果となった（図表1）。生産量や売上額の増加が見込まれることから、企業経営者の景況感は回復傾向を示している。

企業規模別にみると、大企業では「上昇」（40%）が「下降」（9%）を+31ポイントと大幅に上回り、中小企業も「上昇」（27%）が「下降」（17%）を+10ポイント上回り、改善を見通す経営者が多い（次頁図表2）。

2022年上期（1～6月）は、「上昇」（32%）が「下降」（12%）を+20ポイント上回る結果となった。企業規模別でみると、大企業では+29ポイントと大幅に改善すると見込まれ、中小企業でも+18ポイントと、大企業を中心に景況感の改善が続く見通し（次頁図表2）。

（※）B.S.I.（Business Survey Index）とは、「上昇」と「下降」の差を指数化したもの。次頁の「調査の要領」を参照。

## 業種別見通し

### □製造業は引き続き改善傾向、非製造業もプラスへ転じる

2021年下期の業種ごとの見通しを前回調査と比べると、製造業（+7→+14）は改善傾向を強め、非製造業（△1→+10）はプラスへと転じた（図表3）。

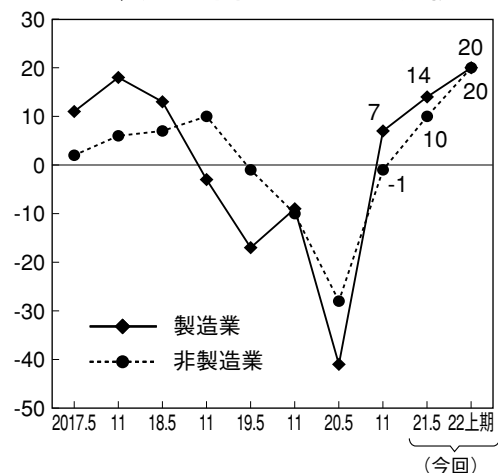
業種を詳細にみると、全20業種のうち、「上昇」が12業種、「横ばい」が2業種、「下降」が6業種となった。製造業では、「一般機械器具」（△8→+42）が改善に転じ、「食料品」（+24→+32）、「パルプ・紙・紙加工品」（+13→+22）などで引き続き改善傾向を示した。また、非製造業では、「小売業」（△20→+13）、「ホテル・旅館業」（△25→+60）でプラスへと転じ、「卸売業」（+3→+8）、「運輸・倉庫業」（+21→+34）で改善傾向が強まった（7頁付表）。

なお、2022年上期の見通しについては、製造業、非製造業ともに+20と改善判断となった。中小企業に比べて大企業で改善を見込む経営者が多い（図表2、3）。

図表2 業種別・規模別 B.S.I. (単位：%)

項目 業種別・ 規模別	回答 企業 数	業 界 景 気							
		2021年7～12月				2022年1～6月			
		上 昇	横 ばい	下 降	B. S. I.	上 昇	横 ばい	下 降	B. S. I.
全企業	367	28	56	16	12	32	56	12	20
大企業	45	40	51	9	31	36	57	7	29
中小企業	322	27	56	17	10	31	56	13	18
製造業	182	30	54	16	14	30	60	10	20
大企業	18	61	33	6	55	44	50	6	38
中小企業	164	27	56	17	10	29	60	11	18
非製造業	185	27	56	17	10	33	54	13	20
大企業	27	26	63	11	15	30	63	7	23
中小企業	158	27	55	18	9	34	52	14	20

図表3 業種別 B.S.I. の推移



注1) 本調査における中小企業とは、資本金3億円以下または従業員300人以下の企業（ただし卸売業では同1億円以下または同100人以下、小売業では同5,000万円以下または同50人以下、サービス業では同5,000万円以下または同100人以下）であり、それ以外を大企業とした。  
注2) 「2021年7～12月」は「2021年1～6月」と、「2022年1～6月」は「2021年7～12月」と比較した見通しである。

## 調査の要領

- 調査目的：この調査は、当研究所が1963年より毎年2回実施しているもので、静岡県内企業経営者の自社の業績見通しをもとに、業界景気を調査することを目的にしている。
- 調査対象：静岡県内に本社をおく主要企業。
- 調査方法：各企業に対するアンケート調査。
- 調査内容：①2021年上期（1～6月）に比べた2021年下期（7～12月）、および2021年下期に比べた2022年上期の自社の業績見通し  
②2021年上期に比べた2021年下期の売上額、経常利益などの項目別見通し  
③現在の企業経営上の問題点および今後重視する経営戦略
- 調査時点：2021年5月中旬
- 回答状況：調査対象企業760社のうち、有効回答をよせられた企業は367社で、有効回答率は48.3%である。

(注) B.S.I. (Business Survey Index) とは、企業経営者の見通しを数字であらわしたもので、前期に比べて上昇とみる…x、横ばいとみる…y、下降とみる…z について、 $x+y+z=100$  とした時、 $B.S.I.=2x+y-100=x-z$  と定義。全員が上昇とみれば B.S.I. は +100、全員が下降とみると B.S.I. は  $\Delta 100$  になる。上昇と判断する人が多ければ多いほど +100 に近づき、下降とみる人が多ければ多いほど  $\Delta 100$  に近づき、上昇と下降が同数（全員が横ばいとみる場合も含む）の場合、B.S.I. は 0 となる。

## 項目別見通し

### □製造業、非製造業ともに売上額が増加するが、経常利益は伸び悩む

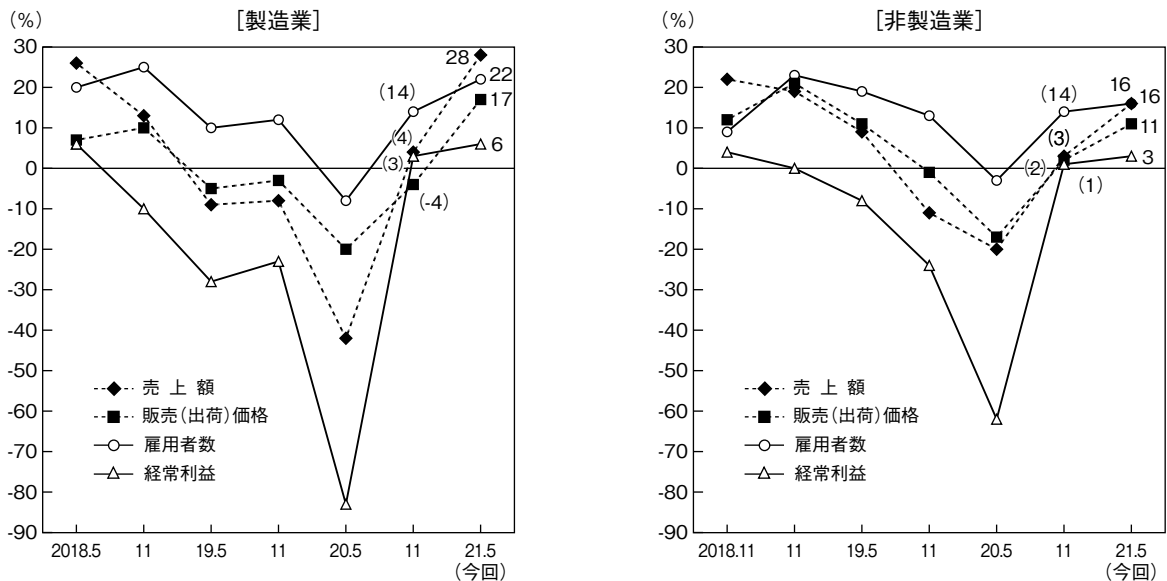
今後の見通しについて項目別に前回調査と比較すると、製造業では、「生産量」(+6→+25)や「販売数量」(+4→+26)が増加し、「販売(出荷)価格」(△4→+17)も上昇することで、「売上額」(+4→+28)の改善が見込まれる(図表4、5)。収益面では、「原材料(仕入)価格」(+20→+59)や「賃金」(+27→+40)の上昇により、「経常利益」(+3→+6)は微増にとどまる見通し。

非製造業でも、「販売数量」(±0→+15)と「販売(出荷)価格」(+2→+11)の上昇により「売上額」(+3→+16)が増加する見通し。ただし、「原材料(仕入)価格」(+13→+35)の上昇や、「賃金」(+29→+31)の高止まりなどからコスト面で厳しい状況が予想され、「経常利益」(+1→+3)は伸び悩む見通し。

図表4 2021年7～12月の項目別B.S.I.

[製造業]		[非製造業]		(単位: %)		
減少・下降	増加・上昇	B.S.I	項目	B.S.I	減少・下降	増加・上昇
18	46	28	売上額	16	20	36
9	26	17	販売(出荷)価格	11	12	23
18	44	26	販売数量	15	20	35
22	42	20	受注額	6	24	30
20	45	25	生産量	3	20	23
2	61	59	原材料(仕入)価格	35	6	41
2	42	40	賃金	31	3	34
10	25	15	製品(商品)在庫数	7	8	15
5	27	22	雇用者数	16	5	21
16	31	15	設備投資	3	16	19
20	14	△6	金融機関借入	△2	17	15
27	33	6	経常利益	3	27	30

図表5 主要な項目別B.S.I.の推移



## 経営上の問題点

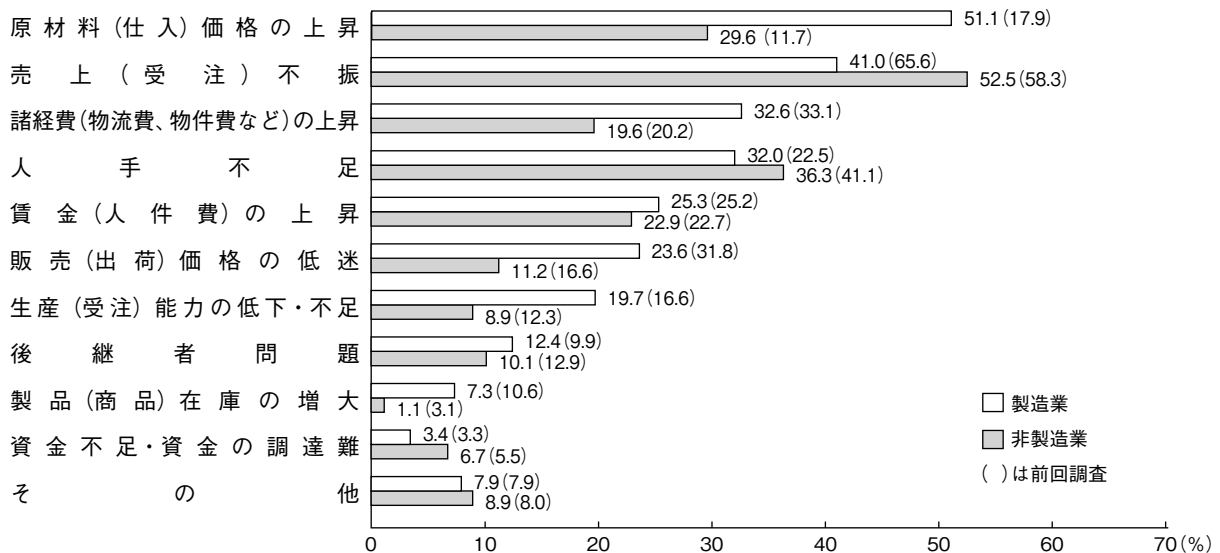
### □製造業では調達コストの上昇、非製造業では売上不振が重要課題

企業経営上の問題点としては、製造業では「原材料（仕入）価格の上昇」が51.1%、非製造業では「売上（受注）不振」が52.5%が多い（図表6）。とくに「原材料（仕入）価格の上昇」は、前回調査と比べると、製造業では+33.2ポイント、非製造業でも+17.9ポイントと大幅に増加した。建設業からは「ウッド・ショックによる影響」が懸念事項に挙がり、原油価格の高止まりに加え、農産物価格も上昇しており、幅広い業界で調達コストの上昇が大きな経営課題となっている。

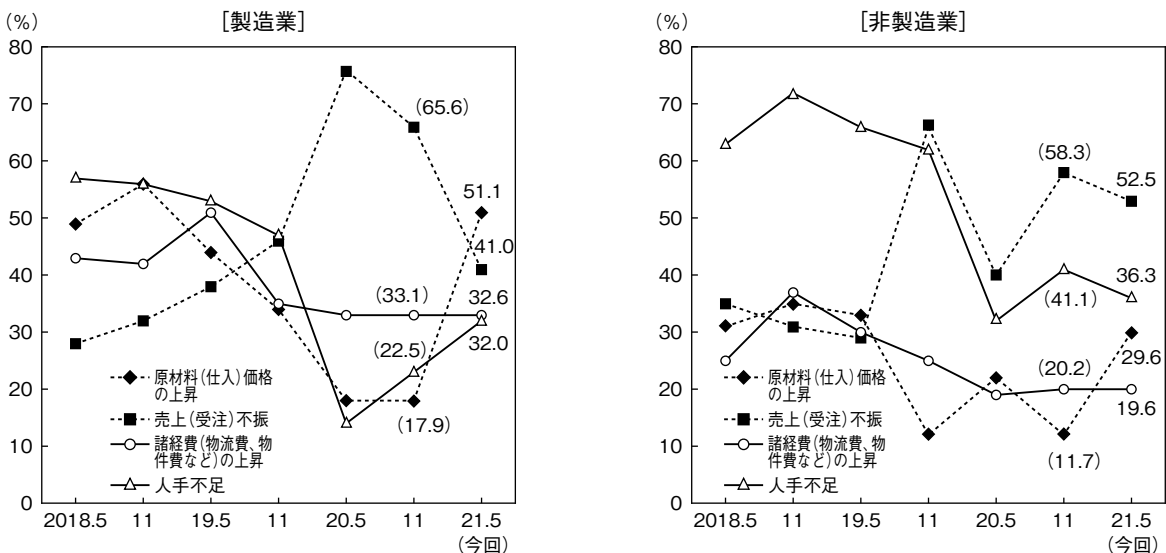
このほか製造業では、「売上（受注）不振」とともに、「人手不足」（22.5%→32.0%）を指摘する経営者が増えている。

非製造業では「人手不足」（41.1%→36.3%）と合わせて、「賃金（人件費）の上昇」（22.7%→22.9%）の回答が多く収益悪化が危惧される。

図表6 現在の企業経営上の問題点（複数回答）



図表7 主要な企業経営上の問題点の推移



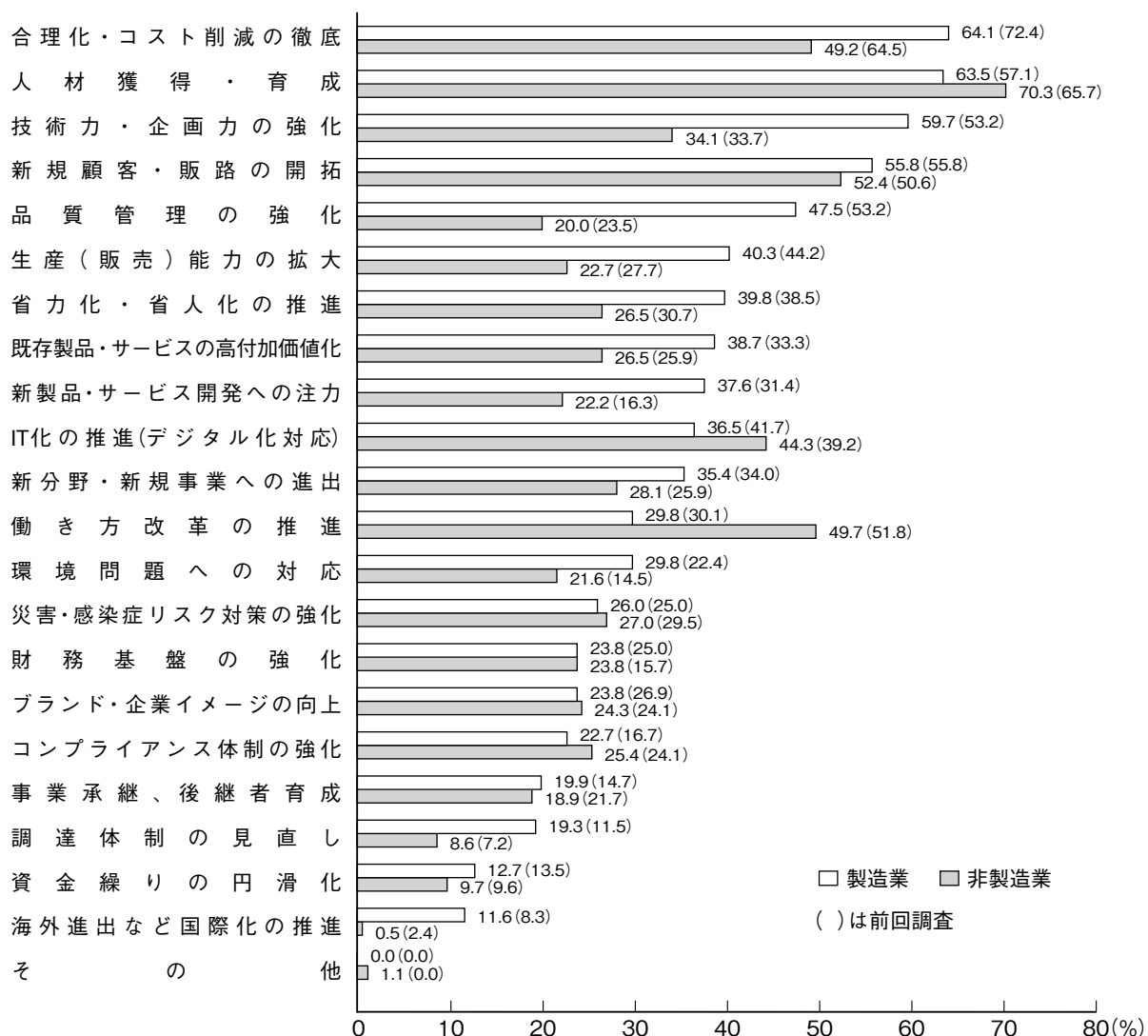
## 今後重視する経営戦略

### □経営基盤の強化や人材の確保・育成を重視

今後重視する経営戦略としては、製造業では「合理化・コスト削減の徹底」(72.4%→64.1%)、非製造業では「人材獲得・育成」(65.7%→70.3%)を挙げる経営者が多かった(図表8)。

製造業では、「人材獲得・育成」(57.1%→63.5%)、「技術力・企画力の強化」(53.2%→59.7%)が前回調査から増加した。非製造業では、「新規顧客・販路の開拓」(50.6%→52.4%)、「働き方改革の推進」(49.7%→51.8%)が多いほか、「IT化の推進(デジタル化対応)」(39.2%→44.3%)を挙げる経営者が増加した。

図表8 今後重視する経営戦略(複数回答)



以上のように、静岡県内企業経営者による2021年下期の景気見通しは、大企業がけん引する形で、改善判断が続くとの結果となった。とはいえ、非製造業を中心に売上不振を課題視する経営者はいまだ多く、原材料価格の上昇が収益環境に影響を落としており、コロナ感染が収束しない中では予断を許さない状況にある。(酒井 悠太)

付表 2021年7～12月の業界景気、自社の見通し(B.S.I.)

項目(B.S.I.) 区分	(業 前 回 景 気)	(業 今 回 景 気)	売 上 額	価 販 売 額 (出 荷 格)	販 売 数 量	受 注 額	生 産 量	(原 仕 入 材 価 格 料)	賃 金	在 製 品 庫 (商 品 数)	雇 用 者 数	設 備 投 資	借 金 融 機 関 入 関	経 常 利 益
	全企業(367)	3	12	22	13	20	14	16	47	36	11	19	9	△5
製造業(182)	7	14	28	17	26	20	25	59	40	15	22	15	△6	6
食料品(22)	24	32	59	18	62	55	59	50	32	14	23	36	0	27
繊維品(8)	△20	△50	△12	△38	△12	△25	△25	25	0	12	△13	△25	0	△38
木材・木製品(13)	△45	△8	8	16	△15	△8	△16	85	46	△15	△8	8	△16	△16
パルプ・紙・紙加工品(14)	13	22	50	△14	43	43	36	64	38	△7	0	8	0	△15
出版・印刷(2)	50	△50	△50	0	△50	△50	△50	0	0	△50	0	0	0	△50
化学・ゴム製品(9)	△29	△33	△25	11	△11	△37	△37	56	50	22	33	0	△25	△44
窯業・土石製品(6)	△71	△17	△33	0	△66	△66	△66	50	0	0	0	△50	17	△16
鉄鋼・非鉄金属(8)	0	0	62	63	88	50	88	88	29	25	50	50	12	12
金属製品(16)	20	25	43	25	37	50	44	81	50	25	19	19	0	25
一般機械器具(27)	△8	42	30	11	26	30	37	52	52	15	22	8	△7	4
電気機械器具(9)	30	33	33	22	22	22	22	67	45	22	33	33	△22	11
輸送用機械器具(34)	26	12	24	18	25	12	24	56	52	18	35	17	△23	15
その他の製造業(14)	38	29	36	50	36	29	31	54	29	50	36	29	15	36
非製造業(185)	△1	10	16	11	15	6	3	35	31	7	16	3	△2	3
建設業(43)	△13	△14	△11	△8	△11	△24	△19	53	33	0	26	△24	△5	△30
卸売業(36)	3	8	14	8	14	3	4	26	23	3	2	23	△26	2
小売業(25)	△20	13	20	21	16	30	12	27	21	13	8	20	4	20
運輸・倉庫業(24)	21	34	54	22	38	24	0	35	46	6	16	21	△9	33
ガス業(4)	33	0	0	50	△25	△25	△25	50	25	25	0	50	0	△25
サービス業その他(43)	8	9	15	14	19	14	19	26	40	16	25	△5	15	8
ホテル・旅館業(10)	△25	60	70	29	56	80	67	33	10	0	0	△30	11	30
規模														
大企業(45)	25	31	40	20	37	45	32	34	31	27	20	17	13	32
中小企業(322)	0	10	20	13	18	10	13	50	36	9	18	8	△7	1
地域														
東部(93)	1	33	39	20	40	34	38	46	31	12	19	6	4	17
中部(144)	△2	9	26	16	20	16	11	41	37	15	15	5	△7	7
西部(130)	8	0	7	7	5	△1	6	57	38	7	22	15	△7	△9

※区分の横の()内の数字は回答数